

話題の治療	形成外科 2	赤松順 2
	新人を迎えて	4
	2017年度 臨床研修修了式	10
人物ルポ	330 放射線科	細田幸司 19
	近森病院附属看護学校入学式	西本清香 20

目次

www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目 1-16 tel. 088-822-5231  
 発行●2018年4月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

## 高知ハビリテーリングセンター設立 10 周年



▲緑溢れるハビリ外観 ▼地域と一体に！恒例のハビリ祭り



### 開設の経緯

「高知県立身体障害者リハビリテーションセンター（県リハ）」が開設されたのは昭和 54 年。この「県リハ」の「在り方検討会」が平成 16 年から開始され、高知県は民間移管を決定。

平成 18 年に近森会グループ入りした社会福祉法人ファミーユ高知が移管先に選ばれ、それが平成 20 年 4 月 1 日の「高知ハビリテーリングセンター」の誕生に繋がりました。

社会福祉法人ファミーユ高知は、平成 9 年に無認可の小規模作業所「ウェーブ」を、仲間たちと立ち上げ、平成 15 年に NPO 法人の認証、翌年 10 月に社会福祉法人ファミーユ高知として認可を受けていたものです。

### 新築・新制度・新事業のスタート

老朽化した建物を解体、二期にわたる建設、引越しが順調に進み、平成 22 年 4 月 1 日からは障害者自立支援法の新体系に移行し、身体障害者だけではなく、知的、精神障害がある方が利用できるトレーニングセンターとしての再出発となりました。

高知ハビリテーリングセンター  
センター長 上田真弓



再出発してから落ち着くまでの期間は、大きな変化で不安になっている県リハ時代からの利用者約 40 名と信頼関係を構築する大切な時期ともなり、私たち職員 25 名にとっても特別な思い出となっています。

新体系に移行し、県から移管された更生部門は「機能訓練事業」、授産部門は「就労継続支援事業 B 型」として事業を継続。そのほか必要に応じて事業を開始、平成 25 年には障害児通所支援事業「放課後等デイサービス」を開所するなど多機能を担っています。現在の機能は、下の図に示しています。

### 「リハビリ」ではなく「ハビリ」

「ハビリ」はラテン語で、順応する、適応するという意味があります。取り戻すリハビリテーションを主とするのではなく、自分に何が出来るかを追求し、能力を獲得するトレーニングセンターであることを強調し、「リ」を取り、スウェーデン語の「ハビリテーリング」としました。スウェーデンは、子どもの頃から家庭教育や学校教育において自己決定、自己責任を全うする国であり、「利用者に提供する一つひとつに

は意味がある」とするスウェーデンのハビリテーリングセンターに倣いました。障害のある生活者として自分の住みたい地域で、自分らしく生きることを応援しています！！

### 「ハビリセンター」の使命と役割

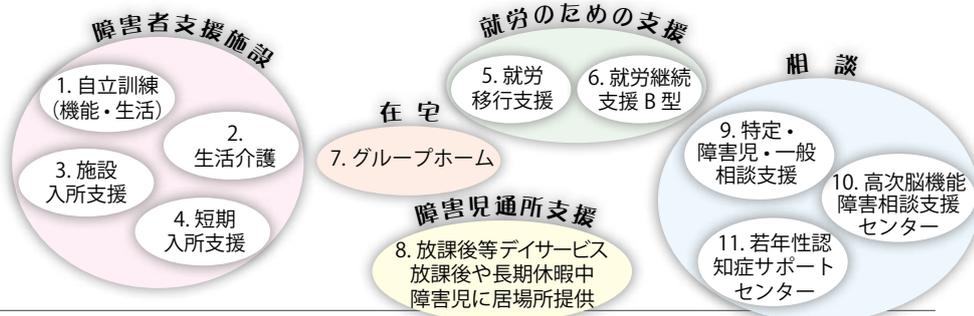
全く知られていない高知ハビリテーリングセンターでしたが、10年の日々を重ね、地元住民の方々、関連機関の皆様とのつながりを感じられてきたことをとても嬉しく思います。医療技術の進歩や交通の便はよくなっていますが、病気や事故による障害児者数は増加傾向にあります。

医療から在宅復帰に向けて当センターへとつながり、地域から当センター利用となる方もおられます。高知ハビリテーリングセンターは、ノーマライゼーションの実現を目指し、自らの人生を主体的に生きるための社会生活力を高めるトレーニングセンターとしての使命と役割を、今後とも果たしていきたいと考えています。

皆様に必要とされる高知ハビリテーリングセンターとなりますよう職員一丸となって、ますます頑張る所存です。

うえた まゆみ

### センターの五つの機能





## GCMN (巨大型先天性色素性母斑) の治療 2 — 医師主導型治験による試み —

近森病院形成外科部長 赤松 順

イラスト：  
近森病院麻酔科秘書 吉岡



### 皮膚断面模式図



前回、当科において行なっている、人工真皮を利用した GCMN のお話をしました。確実に母斑を切除し、整容的な配慮を行い、良い結果を残していると思われませんが、手術回数が多くなることや患皮部の瘢痕などの問題があります。患者さん自身の正常の皮膚を培養出来れば、この問題の解決策となります。

皮膚は表皮と真皮から成り、自家培養表皮、自家培養真皮は既に存在していますが、その二つを組み合わせる自家培養皮膚は、いまだ完成していません。そこで、現在、商品化されている

自家培養表皮を利用した治療方法に対する医師主導型治験が行われ、2016年9月29日付けで、重症熱傷を適応として製造販売承認されていた自家培養表皮ジェイス®が GCMN への適応拡大として承認されました。

自家培養表皮ジェイス®は、マトリックスを一切もたない細胞のみからなる重層化した表皮シート (Green 博士により確立された皮膚表皮細胞の重層培養法で作成され Green 型と呼ばれる) であるため、残存する真皮層あるいは再構築された真皮層へ移植しなければなりません。

そのため、本治験によるプロトコールは、GCMN の切除治療に対しても真皮層を温存することが求められ、残存母斑細胞量は増加することとなりま

▼自家培養表皮ジェイス® (提供 株式会社 ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング)



した。しかしながら、培養に使用する皮膚の大きさは最低 1cm<sup>2</sup>以上で、紡錘形など縫合しやすい形状で採取することで患皮部の負担は著しく軽減されることとなりました。

あかまつ じゅん

## 5月の歳時記

### サクラ

近森病院 6階 B 病棟  
看護師 横田 晴



春は色々な花が咲く季節ですね。桜、菜の花、チューリップ、色々な色の花が咲いていて、色とりどりになるこの季節が大好きです。

とくに今年の桜の開花は高知が1番乗りでした。少し薄着をしてお弁当を持って、お花見に行きたくなりますね。

写真撮影・筆者

よこた はる



## ● 近森看護学校通信 26 ●

### 開校して初めての看護師国家試験

近森病院附属看護学校

専任教員 田原 佳奈

2月18日(日)は看護師国家試験でした。1期生ということで周囲からの期待や注目はかなりのプレッシャーになっていたと思いますが、学生はそのプレッシャーや不安に押しつぶされそうになりながらも、本番では精一杯力を出し切ることができたと思います。

学生達の取り組む姿や結果を見ると、国家試験は最後まであきら

めず、日々の努力を積み重ねることと仲間が存在が大切であると実感しました。100%の合格率とはいきませんが、一人ひとりがこの経験と結果を次への糧にしていってほしいと思います。

学校としても、次年度に受験する学生達を精一杯サポートしていきます。

たはら かな



## 森田潔先生 近森病院顧問就任

### 【略歴】

1974年(S49)3月 岡山大学医学部 卒業  
 1977年(S52)12月 アルバートアインシュタイン大学モンテフィオーレ病院 研究員  
 2002年(H14)4月 岡山大学大学院医歯学総合研究科 麻酔・蘇生学分野 教授  
 2005年(H17)6月 岡山大学病院 病院長  
 2009年(H21)4月 公益社団法人日本麻酔科学会 理事長(二期4年)  
 2011年(H23)4月 国立大学法人岡山大学学長(2017年3月退官)  
 現在 岡山大学顧問・岡山大学名誉教授及び上海交通大学客員教授

この度、岡山大学前学長である森田潔先生を顧問にお迎えできることとなりました。多くの方がご存知の通り、岡山大学麻酔科教授、病院長、学長を経て、現在は岡山大学名誉教授および顧問、さらに上海交通大学客員教授も務められています。

日本麻酔科学会理事長をはじめ、麻酔関連の多数の学術集會会長を歴任された、文字通り麻酔蘇生領域の重鎮でいらっしゃる。

指導された麻酔医も非常に数多く、

各地の大学教授や一線病院の麻酔部長なども多数門下生に名を連ねています。

岡山大学学長を二期務めあげられ、昨年退官されました。その後は13の附属病院を持つ上海交通大学医学部に招かれ、日本と上海を往復しながら後進の指導にあたっておられます。

存じ上げてから既に30年以上になります。ご自身は気づかれておられないかも知れませんが、「わかりました〜」が口癖です。それでいて、いつ



も冷静で何ごとにも積極的かつ前向きなお考えをされます。お人柄、業績、見識、何れも第一級の方を当院顧問にお迎えできたことをたいへん嬉しく思います。

近森病院副院長兼手術部長 入江博之

## ザ・RINSHO 有限会社 石原産業

### 医療から在宅まで

有限会社 石原産業  
 営業部長 森木 寛一さん

(有)石原産業は創業から34年、医療器機や介護福祉用品の販売・レンタルを行っています。近森会グループに



おいては、ベッド、車いす、リハビリテーション機器の他に、近年ではナースコールシステムや離床センサー等の要望が多く、備品器機のメンテナンスやレンタルは日常の主業務となっています。

「現場を止めない、困らせない」が合言葉です。

また退院される患者さんが必要となる、福祉用具の準備や手すりの取



り付け、段差解消等の住宅改修も行い、介護保険や在宅での暮らしを支える制度も充実した今日、早期、円滑な在宅復帰を応援しています。

治療の過程で馴染まれた用具や動作を在宅へ繋げ、予後を安心して暮して頂く事を願っています。

これからも多種多様な医療福祉用具が登場して社会環境も変化する中で、使用方法や情報、リスクも含めお伝えして、社会貢献が出来ます様、励みたいと思います。

もりき ひろかず

# 2018年春 154名の新人を迎えて



## 初期研修医

## 前列左から (以下同じ)



**前列 ● 中谷 優** なかたに ゆう①初期研修医 (2年目) ②高知市③高知大学④名前は一文字ですが、あの中谷家の中谷ではありません。ただの中谷です。よろしくお願いします。

**岡本 莉奈** おかもと りな①初期研修医 (1年目) ②高知市③高知大学④以前はバスケット部、軽音部に所属しておりました。映画、音楽、お酒が好きです。お気軽に声をおかけ下さい！

**河瀬 弘代** かわせ ひろよ①初期研修医 (1年目) ②大阪府③高知大学④体を動かすこと、お酒、ごはん、音楽が好きです。おすすめのお店などあれば教えてください。

**河本 マリナ** こうもと まりな①初期研修医 (1年目) ②岡山市③高知大学④高知に来て、あっという間に6年が経ちました。高知の美味しい食べ物と豊かな自然が大好きです！

**竹森 悠伊** たけもり ゆい①初期研修医 (1年目) ②高知市③高知大学④大学のときはテニスや軽音部でドラムをしていました。テニス以外にもスポーツをすることが好きです。

**後列 ● 奥根 亨也** おくね ゆきや①初期研修医 (1年目) ②和歌山県東牟婁郡古

座川町③高知大学④趣味は釣りとテニスです。昨年念願の船舶免許を取得しました。高知の美味しい魚をたくさん釣りたいです。

**瀬川 朗** せがわ ほから①初期研修医 (1年目) ②神奈川県横浜市③横浜市立大学④趣味らしい趣味がないので、今年度中に見つけたいと思います！！

**中谷 真大** なかたに まさひろ①初期研修医 (1年目) ②高知県宿毛市③岡山大学④スポーツが好きで野球やバレー、マラソンなど色々やってきました。これからはフットサルに挑戦してみたいと思います。

**中山 雄二** なかやま ゆうじ①初期研修医 (1年目) ②高知市③慶應義塾大学④大学では山岳部と公衆衛生学研究会 (別名北海道周遊サークル) に入っていました。とにかく旅行が大好きです！

**船曳 隼大** ふなびき としひろ①初期研修医 (1年目) ②東京都③東京医科大学④趣味はマラソンやツーリングです。高知の豊かな自然を満喫したいです。

## 自信に満ちた未来の姿が

初期臨床研修管理委員会委員長

近森病院救急科科長 三木 俊史



今年も新たな旅立ちがありました。近森の荒波にもまれて育った近森病院プログラムの初期研修医9人と襷掛けプログラム1人が無事研修を修了し、土佐の海から世界の海へ船出をします。2年間の研修の中で楽しいこと苦しいこともあったと思いますが、研修当初の初々しい笑顔を思い出し、現在の頼もしい姿を見ると感慨深く、今後の活躍が楽しみでなりません。自分自身もそうでしたが、研修を終えた彼らの目には自信に満ちた未来の自分の姿が映っていると思います。それぞれの道は違いますが、当院で培った力を存分に発揮し、各方面での活躍を期待しています。 みき としふみ

# 2017年度



全員集合写真

## 近森はイメージ通りの病院

太田 雄飛

近森病院へは何度か見学していたのですがイメージ通り活気があり、症例数が多く、各科の壁もなかったためさまざまな科の先生方の話を聞くことが出来ました。とても充実した研修で、あっという間でした。



4月から他院勤務ですが週一で近森病院勤務がありますので、何らかの形で恩返しが出来ればと考えております。2年間指導して下さった先生方をはじめ近森会のスタッフの皆さんに、深く感謝しております。 おおた ゆうひ

## 胸を張って次のステップへ

大貫 慧介

大学を卒業し近森病院に就職して2年がたちます。振り返れば月日は早く過ぎ去っていったように感じます。近森病院は正に患者1stを実践しており、諸先生方の熱心なご指導、そしてプロ意識の高い職員の皆様からの刺激にあふれた研修でした。ここで研修できてよかったですと心から思います。



足りない点を挙げればキリがありませんが、できるようになったことも多く、次のステップに胸を張って進むことができそうです。2年間ありがとうございました。 おおぬき けいすけ

## 患者さん自身を診ること

金子 昌憲

医師になるまでに遠回りをしてきましたが、同期や熱心な指導医に恵まれ、何とか修了することができました。臨床の現場に立ったばかりの頃、年齢から焦りもありましたが、何もできない僕がまず心がけたのは、できるだけ患者さんやご家族に寄り添い、その声に耳を傾け、病気だけでなく患者さん自身を診ることでした。



この春から専門の道に進みますが、この気持ちを忘れずこれからも精進していく所存です。2年間本当にありがとうございました。

かねこ まさのり

## 還元をしていけたらと

木田 遼太

時が経つのは早く、2年間の研修が終わる実感がありません。近森病院を選んだ主な理由は二つ挙げられます。一つめはCommonな疾患を豊富に経験すること、二つめは外来から入院、退院後の環境整備などプライマリケアを学ぶことです。実際研修し、豊富に経験させていただいたと思っております。



この2年間で先生方、コメディカルの方々患者さんから学んだことはたくさんあり、これからみなさんに還元をしていけたらと考えております。

きだ りょうた



## やりたいことも見つかる

ベスト研修医賞

竹之熊 哲也

何かの縁で高知にやってきて2年、今では故郷のような感覚になっています。医学にあまり興味のなかった学生時代でしたが、2年間の研修でいろんな経験をする中で責任感が芽生え、それがプレッシャーだけでなく誇りに思えるようになりました。そして無事やりたいことも見つかりました。



高知を離れますが、将来何か必ず高知に恩返しできるような、立派な感染症医を目指したいと思います。本当に楽しい日々でした、ありがとうございました。

たけのくま てつや

# 臨床研修修了式

2018年3月25日



▲ベスト研修医賞竹之熊先生

2017年度初期研修医

高知大学たすきがけ2年修了

## 成長できる数多くの経験

溝渕 周平

私にとって近森病院は実習や見学、時には家族の御見舞で何度も足を運んだことのある病院でした。しかし、実際に研修が始まってみると右も左も分からず、コメディカルの皆さんに声を掛けられても気の利いた返答も出来ませんでした。

そんな研修のスタートでしたが、2年間で自分を成長させる機会を数多く経験でき、また円滑なコミュニケーションを取りながら診療ができる環境を作って下さるコメディカルスタッフ並びに病院関係者の皆様に心から感謝しています。



みぞぶち しゅうへい

## 学んできたことを活かして

橋田 侑樹

時が経つのは早いもので2年間の研修が瞬く間に終了しました。近森病院での研修を通して様々なことを学ぶことができました。common diseaseを初めとした疾患の数々、手術をはじめとした手技や薬剤についてなど枚挙には暇がありません。

4月からは高知大学医学部附属病院の精神科で後期研修医として勤務します。学んできたことを活かして今後の医師人生に励んでいきたいと思えます。2年間お世話になりました。



はしだ ゆうき

## 非常に強い刺激を受けて

横田 真二郎

2年間で指導いただき誠にありがとうございました。2年前は特に考えもなく、なんとなく近森病院を選び、研修を始めました。仕事を始めてみると、全職種の方々が常に患者さんに最良の医療を提供できるよう、努力されているを目の当たりにしました。非常に強い刺激を受け、この病院を選んで本当に良かったと思います。4月からも引き続き近森病院の整形外科で学ばせていただくことになりました。今後とも指導のほどよろしくお願いします。



よこた しんじろう

## 人生における大きな財産

平野 孝士

早いもので、近森病院に初期研修医として入社してから2年間が経過しようとしております。生まれてから24年間、神奈川県で過ごしてきた私にとって、誰一人知人がいない高知で働くことは人生における大きな挑戦でした。初めは何もわからず、自分の能力の無さに悩むこともありましたが、多くの人に支えられ、卒業の日を迎えることができました。

ここでの経験は人生における大きな財産です。4月からは近森病院の救急科で働く予定です。今後ともよろしく願い申し上げます。



ひらの たかし

## 高知の医療に貢献したい

植村 夏実

たすきがけで今年1年研修させて頂きました。大学と異なる環境で不安もありましたが、近森病院は医師、スタッフの垣根が低く、上級医からコメディカルまで気さくに声をかけて下さり、一人で悩まずに仕事ことができました。恵まれた環境の中たくさんの方々のことを勉強させていただき、近森で研修して本当に良かったと思います。

4月からは大学に戻りますが、近森病院で学んだことを糧にして、高知の医療に貢献していきたいです。1年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



うえむら なつみ

西田一平は4月末に修了予定です。

# 乞！熱烈応援

## 個性と順応性？



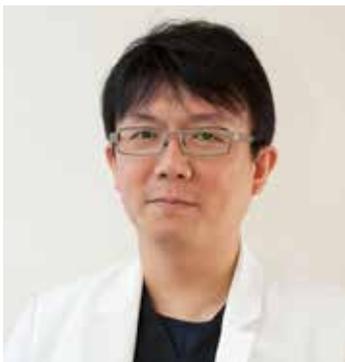
近森病院内科  
科長 白神 実

徳島大学を卒業して27年目です。一般病院から開業医、一般病院、そして救急病院に勤務するという変わった経歴となってしまいました。近森病院にて原稿を書いている時は1週間目ですが、機能分化がきちんと出来ていて、働きやすいと思います。

医師や他のコメディカルスタッフ、事務職の方に協力していただいて、皆さんのお役に立ちたいと思います。

しらが みのる

## 戻り鯉



近森病院呼吸器内科・  
感染症内科科長 中岡 大士

4年前の退職の際、呼吸ケアチームのME吉川さんに「いつか戻り鯉に」と送り出されたのが高知っぽくて印象的でした。

聖路加国際病院の呼吸器内科で3年間、所属医局の長崎大学の感染症内科で1年間遊泳し成長した戻り鯉となりました。新生の呼吸器と感染症診療を盛り上げていく所存です。待ってくれていた皆様へ、ただいま。

なかおか ひろし

## やっと来ました！



近森病院外科  
科長 塚田 暁

「やっと来たか！」こうお思いになれる方も多いと思います。2015年9月より非常勤として診療、手術に携わっており「いつ常勤になるの？」と、よく聞かれておりました。やっと来ました！順天堂大学では肝胆膵外科を主にやっておりました。

他科の先生方や上司から信頼され、若い先生達からは頼られる存在になりたいと思っております。

つかだ あきら

## 日々精進



近森病院外来センター  
看護師主任 田中 美和

病棟勤務を経て外来勤務となり、今年で15年になります。これまで長きにわたり続けてこられたのは、患者さんや上司、仲間、家族の支えがあったからだ実感しております。

まだまだ未熟者で、力不足ですが、これまでの外来での経験を生かし、これからも患者さんに安全・安心・満足のいく看護を提供できるよう努めていきたいと思っています。

たなか みわ

## 忘れない！



近森病院手術室  
看護師主任 大廻 真生

看護師になって初めての配属先が手術室でした。看護の中でも特殊な部分が多く、その日常に不安で戸惑うことばかりでした。毎日必死に勤め、先輩達から学んでいた日はあっという間に過ぎ、今はたくさんの後輩達の前を歩くようになりました。教育・指導をすることが多い立場になりましたが、初心・学びの心を忘れず気持ちを引き締め勤めていきたいと思っています。

おおさこ まき

## 自分にできることを



近森病院手術室  
看護師主任 京川 瑠璃

新卒で手術室に配属となり、不安でいっぱいだった頃からいつの間にか13年。今では手術室以外のことが分からず、不安ななかでの就任となりました。

今回手術室は大幅な人員の変更があり、今まで以上に忙しい毎日ですが、皆さんの力をお借りして自分にできることを精一杯していきたいと思っています。

きょうかわ るり

# 乞！熱烈応援

## チーム医療の一端を担い

## 明るく笑顔で

## 誠心誠意で



臨床工学部  
副部長兼技士長 平野 友紀

現在、当院の臨床工学技士は41名となり、その業務は透析や人工心肺などの医療機器の操作・メンテナンス以外に手術や心臓カテーテルの清潔補助など多様化してきました。

患者さんや病院の発展、及び、高知の医療のために臨床工学部として、何ができるのかを見極め、業務を改善・拡充させるよう邁進していきたいと思っております。

ひらの ゆき



皮膚・排泄ケア認定看護師  
主任 安松 和美

看護師になりたての頃、理想と現実とのギャップに戸惑い、どうして看護師になったのか悶々と考えていた時期がありました。あれから13年、多くの方々の支えがあり、看護の仕事を続けることができています。

感謝の気持ちと初心を忘れずに、明るく笑顔で元気良く、そして自分らしく看護を提供していきたいと思っております。

やすまつ かずみ



近森病院救命救急センター (ER)  
看護師主任 檣尾 幸聖

看護師歴約11年。ER、救命救急病棟、ICUそして再度ERに異動、前に比べ重症患者さんの多さに驚いています。治療方針も変化し、以前より患者さんの意思決定支援が求められています。患者さんとコミュニケーションを持つ時間を常に意識し、患者さん、ご家族に満足してもらえるような看護、意思決定支援を提供できるチームを目指したいと思っております。

かしお こうせい

## チームワークを大事に

## 「強み」を見つけ活かす

## 肩肘張らずに前向きに



近森病院北館2階病棟  
看護師主任 西川 ちひろ

日々進歩する医療の中で、治療から在宅まで、またその後の生活まで見据えた看護へと、幅広い視点で患者さんを支える働きが求められています。様々な患者さんと、ご家族への対応など、日々の取り組みが良い看護へと繋がるように、チームとしての取り組みをこれからも考えていきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

にしがわ ちひろ



近森病院総合心療センター  
5階病棟看護師主任 堀尾 恵

精神科では患者さんの人生と向き合い、その人の「強み」に目を向けていきます。そのような看護をするなかで私自身、人としても成長できてきたと感じています。

主任という役割に不安も大きいですが、スタッフの強みを見つけ活かしていくことが、私の強みになると思っています。皆さんに助けてもらいながら成長していきたいです。

ほりお めぐみ



近森オルソリハビリテーション病院  
3階病棟看護師主任 野村 由香

主任の役割とは何だろうと悩んでいる中、「この職場が好き・ここで働き続けていきたい・と思える職場・環境を作ること、その一端を担うこと」という言葉に出会いました。

その責任ある役割が自分に務まるのか不安で一杯ですが、皆様の力をお借りして少しでも成長できるよう、肩肘張らず前向きにがんばっていきたく思います。

のむら ゆか

# 乞！熱烈応援

## 自己研鑽に努めて



近森病院作業療法科  
主任 武内 周平

この度、主任を拝命いたしました。これまで同僚や先輩方、周りのスタッフと多くの方に支えられながら、ここまで成長できたと強く感じています。まだまだ未熟ですが、自己研鑽に努めながら、自分の役割を果たし少しでも貢献できるよう日々精進していきたく思います。よろしくお願ひします。

たけうち しゅうへい

## 周りを支える存在に



近森リハビリテーション病院  
臨床栄養部主任 関 香代

近森会に研修生として1年お世話になり、その後就職して12年目になります。2児の母となっても仕事を続けられるのは、たくさんの方々に支えていただいているからです。

女性が多い部署ですので、これからもスタッフが結婚出産しても安心して仕事ができるよう、今度は私も微力ながら周りを支えられる存在になりたいと思います。

せき かよ

## 謙虚さと熱い想いを持って



高知ハビリテリングセンター  
自立訓練部主任 高橋 信雄

この度、高知ハビリテリングセンター自立訓練部主任心得に就任させて頂くことになりました。

スタッフの意見を取り入れながら、それぞれが役割を果たしていける環境づくりに努め、自立訓練部として総合力を発揮していけるように微力ながらまとめ役を担っていきます。

たかはし のぶお

## 支えられる存在へ



近森リハビリテーション病院  
作業療法科主任 小川 由美子

1年目のときに、先輩から「大切なのは、どこで働くかではなく、誰と働くかだ」と教えられました。就職して13年目を迎えますが、尊敬する先輩、信頼する同期、力強い後輩に支えられて、今の自分があると改めて感じています。

今後は微力ですが少しでも周りの方々に支えられる存在になれるよう努力していきたく思います。

おがわ ゆみこ

## 目標をもって成長する



近森病院 医療福祉部  
ソーシャルワーカー主任 島崎 友映

ソーシャルワーカーの役割とは何か。上司や同僚に支えてもらいながら学び、患者さんやご家族、関係機関や周りのスタッフの方々に、考え続ける機会をいただいています。

悩むこと考えることを大切に、目標をもって成長を続けていくことが出来るよう、努めていきます。今後も、ご指導の程をよろしくお願ひ申し上げます。

しまさき ともえ

## 心新たに



高知ハビリテリングセンター  
相談支援部主任 甲斐 亜弥子

高知ハビリテリングセンターは、今年で10周年を迎えました。そのような節目に新たな役目をいただきました。相談支援部という施設の顔として、施設内外の関係構築を大切に、利用者さんの自己実現を支えていける存在になりたいと思っています。

広島出身なので、ノリに乗っているカーブ魂で、利用者さんにも熱い支援をしていきたく思います。

かい あやこ

## なんでも フリー コーナー

### このコーナーについて

「ペットを紹介したい!」、「ON OFFでギャップのあるスタッフを紹介したい!」、「家族・愛妻自慢!」などなど、どんなテーマでもOKです。

各部署リレーで回りますので、お楽しみに!

## ウーパールーパー

近森病院感染対策室 桜木 陽子

名前はウパちゃん。多分♀(7才)いつもはおっとりしていますが、餌への食いつきは目にもとまらぬ早業です。

さくらぎ ようこ



編集室より●ウーパールーパーというのはメキシコサンショウウオのことで、日本では1985年に「日清焼そばUFO」のCMに登場したのが初めて、以降一時流行した。

## 踊り子募集!

## 2018年よさこいチーム「ちかもり」

近森会グループ職員、職員家族、近森病院附属看護学校学生、関連会社職員様



撮影:宮崎延裕先生

2018年  
8月10日  
▶ 11日

祝!  
9回連続  
出場

「第65回よさこい祭」の夏がくる。感謝の気持ちを忘れずに元気に周りの人に幸せをもたらすよさこい踊りをつくります。

## 近森会保育室 そろと

3月31日、元気な23名が卒園しました。



## 私の趣味

### 趣味について

臨床工学部急性期 CE

臨床工学技士 眞鍋 佑介



僕の趣味はライブに行くことです。ライブに行くことが好きになったきっかけは、iphoneやYoutube等で自分の好きなアーティストの曲を聴いている時に「生で聴いてみたい、本物に会ってみたいな」とふと思ったことでした。

初めてライブに行った時、自分の席が少し後ろの方になってしまい残念だったこと、自分の好きなアーティストのカラーが青色ということもあり会場や周囲の人達の服装やペンラ

イト等が青一色という状況に驚いたことを今でも覚えています。実際にライブが始まり一番に思ったことは、アーティストのパフォーマンス、ダンサーの方達やステージの演出でいつも聴いていた曲でも雰囲気や印象、曲の感じ方がかなり異なりとても迫力があると思ったことです。また、曲の間のMCで「不安な中でやってきたことが、やってよかったと強く思える」という言葉にとっても励まされました。時間がとても短く感じあつ

という間にライブが終わってしまい会場に行くまでの道のり、チケット代やグッズで結構なお金を使ってしまうましたが、後悔は全くなく行って良かったなと心から思えました。

自分の好きなアーティストのライブが高知からは少し離れたところですがやっていますが、休みと機会があれば次回もぜひ行きたいです。

まなべ ゆうすけ

## リレー エッセイ



◀執筆後列右端

## 9人

薬剤部 薬剤師 胎中 裕子



時が経つのは早いもので、入職して3年目になりました。薬剤部の同期についてお話します。私たちの代では9人が採用され、薬剤部内では過去最多数と言われています。「ここで働かせてください！ここで働きたいんです！！」と全員が志願し、近森会に入職しました。

男女比は女：男=8：1のハーレム状態です。全員関西の大学出身で、年齢も近く、共通点も多いことから

すぐに仲良くなりました。始め、先輩方からは「絶対派閥できるで」と言われていたそうです(笑)。しかし、そんな先輩方の思いとは裏腹に争うこともなく、毎日平和に過ごしています。うそやろ！とお思いになるかもしれませんが、本当に仲良しなのです。

夏はBBQ、冬はクリスマス会、忘年会などシーズンごとに9人で定期的に集まっています。クリスマス会では9人でUNOをしましたが、人数が多すぎてなかなか上がることできなかったことも良い思い出です。

仕事面では9人が違う科に配属され、DMやケモなどそれぞれ得意な分野ができたことで困った時はお互い相談し、助け合っています。

3年目になった今、この「9人」だからこそ、今まで辛かったことも悔しかったことも乗り越えられたんだと思います。これからも9人で支え合い、迷ったときは曇りなき眼で見定め、決めて歩いていきたいと思えます。

※このエッセイの中には私たちが大好きなジブリのセリフを二つ入れています。 たいなか ゆうこ

## お弁当拝見 61 お昼は持参



近森リハビリテーション病院  
4階西病棟 森田 桂司



私は自分で弁当を作っています。作るといっても、中身はさっと卵を焼いたり、昨夜のおかずの残りを詰めたりしています。

中身の寂しい日もあれば、少し豪華な時もあり不安定なお弁当です。できるだけ主菜と野菜を入れるように意識していますが冷凍食品の力も借りています。何でもコンビニで間に合う時代ですが、時間や外食費の節約にも役立っています。

食べ物は私の体を作る元です。今日もしっかり食事を摂り、体を動かして頑張りたいです。

もりた けいじ



## ワイン講座 ● 65 最終回

ぶどう品種を知り、個性を探る

その42 アメリカ篇

## ジンファンデル

ジンファンデル (Zinfandel) とは、主にアメリカのカリフォルニア州で栽培されている赤ワイン用ぶどう品種です。

19世紀の初頭にアメリカに持ち込まれ、カリフォルニアのナパやソノマ・カウンティを代表するぶどう品種となりました。

30年近い議論の末、このジンファンデルのDNAはイタリアのプリミティーヴォと同種であることが1990年代に判明しました。

このプリミティーヴォはイタリアでは南部のプーリアやサルデーニャで広く栽培されていて、クロアチア原産と言われています。雨に弱く、乾燥に非常に強い品種であり、濃い色調でアルコールが高めのしっかりしたボディのワインが多く、長期熟成に向いています。

しかし、現代的なスタイルと伝統的な方法で造られたものの差は大きく、品種としての決定的なスタイルは未だ確立されていません。カリフォルニアのジンファンデルは、酸味は少なく、色調は濃く、果実味豊かで強い芳香があり、飲み手を魅了するコストパフォーマンスに優れたワインが多く存在します。

また、これからの季節に最適なホワイト・ジンファンデルと呼ばれる明るいピンク色のほのかな甘口も造られています。

鬼田知明 (有限会社鬼田酒店代表)

5年以上連載を続けていただきました。ありがとうございました。

カリスタガ・ジンファンデル / アメリカ、カリフォルニア州、ナパ・ヴァレー  
● 1976年パリでアメリカ建国200年を記念し、フランスワインと当時全く無名だったカリフォルニアワインをブラインド(目隠し)テイスティングするという試飲会で、白ワインで見事1位になった生産者によるもの。濃く甘いというカリフォルニアのジンファンデルのイメージを覆すクラシックな味わい。



# ニューフェイス

①所属 ②出身地 ③最終出身校 ④自己アピールなど



白神 実

**しらが みのる** ①内科  
医師(科長)②岡山県③  
徳島大学④呼吸器が専門  
ですが、院内に専門家が  
いない分野の内科診療を  
することが多い?ニッチ担  
当?



中岡 大士

**なかおか ひろし** ①呼  
吸器内科・感染症内科医師  
(科長)②大阪府枚方市③  
英国リバプール大学医学  
部④4年ぶりの復帰とな  
りました。よさこいは熱  
く、ゴルフはクールに、診  
療に生きる心技体をこつ  
こつ鍛えます。



塚田 暁

**つかだ あきら** ①外科医  
師(科長)②東京都③順天  
堂大学④2015年9月から  
非常勤で勤務してしまし  
たが、これからは常勤医  
としてチーム医療の一員  
として活躍したいと思います。



金星 匡人

**きんぼし まさと** ①神  
経内科医師②奈良県③京  
都大学④わかりやすい説  
明を心がけています。ど  
んなことでも気軽に相  
談ください。



木村 祐介

**きむら ゆうすけ** ①形  
成外科医師②和歌山県③  
大阪医科大学④一年ぶり  
の近森病院です。一年間  
でなにが変わったのか、  
変わらなかったのか、ぜ  
びご笑味ください。



衣笠 由祐

**きぬがさ ゆうすけ** ①  
心臓血管外科医師②高知  
県③高知大学④2年ぶり  
に高知に帰ってきました。  
福岡で美味しいものを食  
べすぎたためか、皆さん  
からアゴのラインが丸く  
なったと言われるので、  
今年の目標はシャープに  
なることです。



古曾部和彦

**こそべ かずひこ** ①麻  
酔科医師②兵庫県③大阪  
医科大学④近森病院初期  
研修を修了して早4年。  
これからは後輩たちを  
しっかり指導していきたい  
と思っています。



土田 亜希

**つちだ あき** ①精神科  
医師②高知県③高知大学  
④なし



矢崎 知子

**やざき ともこ** ①救急  
科医師②徳島県③高知大  
学④大好きな近森病院に  
4年越しに帰ってきました!  
これから家族で高知  
ライフを満喫します!



高橋友香里

**たかはし ゆかり** ①循  
環器内科医師②岡山県③  
高知大学④患者さんのた  
めに精一杯がんばりたい  
と思います。



谷 美里

**たに みさと** ①麻酔科  
医師②香川県③香川大学  
④未熟者ですが、さまざ  
まなことを勉強、吸収し  
ていきたいと思っています。



## ■インターンシップ

随時：希望に応じて実施しています

◎脳卒中コース ◎医療安全コース

◎整形外科コース ◎消化器コース

◎ER・集中コース ◎循環器コース

◎まるごとコース ◎外来在宅コース

(チーム医療体験) その他希望に応じて

## ■採用試験

筆記試験 7月28日(土)

面接試験 7月29日(日)

▶詳しくはHPへ



おめでとう

編集室通信

初のひろっばアンケート、人気一位は「一面」でした。納得ですね。また、「ペット自慢したい!」などのご意見より「なんでもフリーコーナー」が新しく増設されましたし、Web版では人事異動、ニューフェイスを非表示にして個人情報保護に配慮するなど、5月号より色々変わります。これからも「ひろっば」をよろしく願います。

(須)

# 何だか温かい不思議オーラ

## シャイを包む不思議オーラ

「ボクは大人になって変人扱いされる程度が下がったと思うし、ごく近い人たちに、自分を一定分かってもらえたら、それで充分だとも思っています」。

ずいぶん控え目な自己紹介の言葉だが、3月の初期臨床研修修了式でも細田先生は「ベスト指導医賞」に選ばれている。周りが素の先生をよく理解し、信頼し、慕っているからこそ、細田先生にいちばん票が集まったのだろう。

ちょっとシャイで、一見は相手を突き放すようにクール、それでいて実直に言葉を探すような誠実さに溢れ、どこかアンバランス。優しいのか素っ気ないのか……。

## 上達のコツで近道で王道

医学部へ進むことを決めたのは高校3年のとき。慶應義塾大学を「受けたら受かった」そうで、成績抜群だったのだろう。が、「大学時代はヒマがあれば旅行していた」という印象が強いようだ。最終的には「全身を学んだことがそのまま活かせる」などの理由で、放射線科に進むことにした。

極めて特殊で、例えば10年に一度しか診れないような画像でも、知識さえあれば診断は正確にさせる。だから、「常日頃、コツコツ勉強して地道に症例数を増やしていくことが、診断医の見立ての上達のコツで近道で王道でもある」と、より正確さを期する表現を探すように、現状をこう説明する。

## 北の果てか南の果てへ…

ちょうど初期臨床研修医制度が始まった年に大学を卒業。大学病院より一般病院の方が様々な研修の機会に恵まれると判断した先生の望んだ先は、北の果てか南の果て。

結局は医師の絶対数も少なく、しかも気候環境もよりキビしい北見市を選んだ。こういう極端さも、いかにも先生らしいのだろうが、社会へ出て荒波に揉まれ丸くなり、自己分析「変人扱



▲臨床研修修了式でベスト指導医賞に（右）の程度が下がった」に繋がるのか…。

研修を終えて慶應義塾大学病院の医局に5年勤務した後、故郷の高知に戻った。「家の都合。満員電車通勤にも飽きた（笑）し、臨床をしっかりするなら、地元で」とも考えたためだった。

## 他の先生方の役に立ちたい

近森病院では4年目になる。他科の先生方と病気について議論する方が、「研究よりも自分の性に合っているように思う」のが近頃の率直な感想だとか。「的確に診断し、他の先生方のお役に立てること」。これがいちばんの願いだそうだから、コミュニケーション力の優先順位は低くなり、多くの医師の目指す在り方とは若干違ってくるようだ。

忘れ物など日常では抜けている面もあるそうだが、「細田先生やし、仕方ないよね」と、温かく受け入れられているらしいから、ラッキー！。

あまり好きではない「群れること」をせず、自分のペースで、でも周りの先生方とのチームワークにはしっかり気を配りつつ、正確迅速な診断が続く。

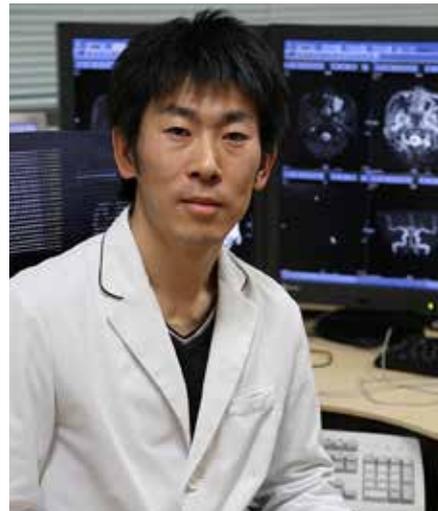
## オフ

「趣味は色々」。原則は個人でやれるものが好き。龍馬マラソンには今年も出場し、記録もまた更新した。

8年ぶりに生まれた次男と妻の四大家族。「育児で大変そうだけど、妻のサポートのおかげで何とか頑張ってます。こういって、少し妻を持ち上げておかないと…（笑）」とオドケル一面も。

温かい家族に囲まれ、走ることで自分と向き合いオフも充実し、それが読影の集中力の素になっているのだろう。

▼放射線科読影室では常時三つのモニターに向かっている細田幸司先生



▼龍馬マラソンでは今年も記録更新！



▼外では少々コワモテ。家では8年ぶりに恵まれた二人目にメロメロ……らしい…



## 2018年3月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	18,545人
新入院患者数	958人
退院患者数	996人
近森病院（急性期）	
平均在院日数	14.97日
地域医療支援病院紹介率	65.19%
地域医療支援病院逆紹介率	169.96%
救急車搬入件数	494件
うち入院件数	253件
手術件数	471件
うち手術室実施	288件
うち全身麻酔件数	170件

● 2018年3月 県外出張件数 ●  
件数 57件 延べ人数 109人

## 第4期生を迎えて

近森病院附属看護学校

教務主任代行 西本 清香



春の息吹きを感じる4月11日、看護学校の入学式が執り行われました。たくさんのご来賓の方や近森会グループの職員の方に見守られ、今年は45名の新生を迎えることができました。

式典では、高知県看護協会会長の宮井様から励ましのお言葉を、近森病院神経内科主任部長 山崎先生や岡本統括看護部長から温かい歓迎のお言葉を頂きました。

新入生からは、「自分の夢に向かって仲間とともに一生懸命頑張る。」という決意があり、これからスタートする45名が夢に向かって頑張っている

姿が垣間見えるようでした。

毎年恒例になっているバルーンリリースは、4期生の学年カラーであるグリーンを主とした風船が大空高く舞い上がっていききました。グリーンは、人間関係のバランスをとりどんな人にも合わせられる協調性のある色で、中立的で争い事を避ける色と言われています。また、その時々にあわせた柔軟性も兼ね添えています。このグリーンのようにどのような場面でも適応でき、周囲との協調を大事にする看護師に育てて欲しいと願っています。

これから始まる看護の道は決して優しい道ではありません。医療情勢は厳

しい状況が続くでしょう。しかし、今の看護師になりたいという夢を忘れずに仲間とともに高め合い進んで欲しいと思います。私たち教職員は45名の個性を大事にしながら看護師になれるよう全力でサポートしていきます。3年後、45名の瞳が今のように期待と希望で輝いていられるような学校であり続けたいと思います。

今後とも、45名の看護師の卵を迎えた近森病院附属看護学校に変わらず皆様のご支援をお願いします。

にしもと きよか



▲近森正幸学校長挨拶

